

花巻 歴史探訪

【問い合わせ】本庁文化課(☎23-52600)



市指定文化財(天然記念物)

内室堤のイワテヤマナシ

所在地(轟木19-149)

白鳥やカモなど、渡り鳥の飛来地として知られる笹間地区の^{うす びら}内室堤。そのほとりにあるイワテヤマナシの樹は、樹齢(推定)150年を数える大木です。毎年5月中旬になると枝いっぱい白い可憐な花を咲かせ、あたり一面を甘い香りで包みます。

イワテヤマナシは、日本に自生するナシの野生種の一つですが、同じナシの野生種であるヤマナシとは、違う品種です。扁球状で褐色の小さな果実は、ヤマナシより香りがよく、落果してからもずっとガクが残っているなど、日持ちが良いことが特徴。県内では奥羽地方に分布していますが、年々その数は減少しています。

この樹は、胸高周囲4.1^{メートル}、樹高20^{メートル}。地上約1.7^{メートル}のところまで主幹が東側、中央、西側の3方向に分岐しています。害虫や積雪のため、枯れたり、折れたりした枝も部分的に見られますが、おおむね状態は良く、樹形の良い銘木です。このことから、岩手県内に自生しているイワテヤマナシの中でも、大変珍しい大木・古木。とても貴重な天然記念物となっています。